

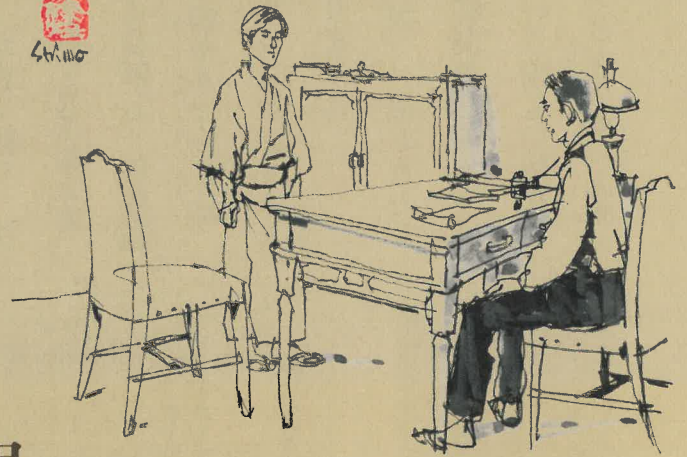
『坂の上の雲』のひとびと メッセージ



陸羯南之像

陸羯南

正岡子規



長州人
同士で

兎玉も
乃木も

兎玉源太郎

東郷平八郎

『東郷は運のいい男ですから』



小村寿太郎像

小村寿太郎

金子堅太郎

ルズベルトと
金子堅太郎



第14回企画展テーマ展示

2020年2月22日(土) - 2021年2月14日(日)

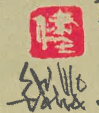
休館日：毎週月曜日(休日の場合は開館) 開館時間：午前9時-午後6時30分(入館は午後6時まで)

観覧料：一般 400円(320円) 高校生 200円(100円) 高齢者(65歳以上) 200円(160円)

※中学生以下は無料 ※ () 内は20名以上の団体割引料金

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM



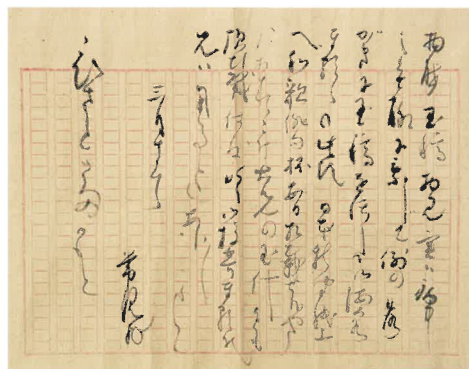
『坂の上の雲』のひとびと メッセーجز

明治維新によって近代国家として歩み始めた日本。この小さな国の新しい国民は、時代の高揚感の中で自らの信じる道を切り拓いていきました。

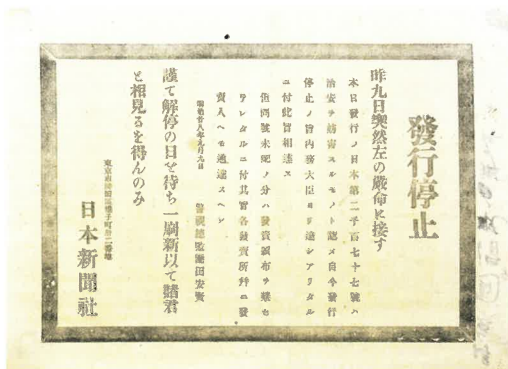
小説『坂の上の雲』には三人の主人公をはじめ、時代を懸命に生きた多くのひとびとが登場します。

政府批判も辞さない鋭い論説を展開しながら、限らないやさしきで子規を支え続けた陸羯南。日露戦争という巨大な試練に対し、知恵を絞り、決断力をもって乗り越えた東郷平八郎や児玉源太郎。国家を背負って諸外国と粘り強く交渉し、日露戦争の講和を成し遂げた小村寿太郎や金子堅太郎。かれらは、言論、軍事、外交のトップランナーとして、新しい時代の担い手となりました。

今回の企画展では、『坂の上の雲』に描かれたひとびとが、それぞれの置かれた状況でどのようにふるまったかを紹介し、令和という新しい時代を歩み始めた現代人へのメッセーجزとするものです。



1



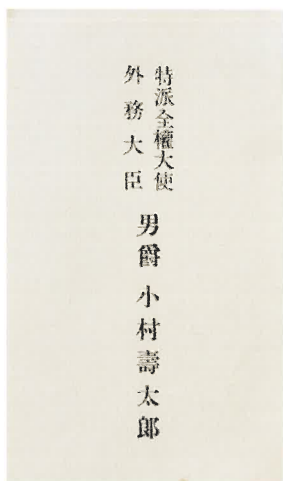
2



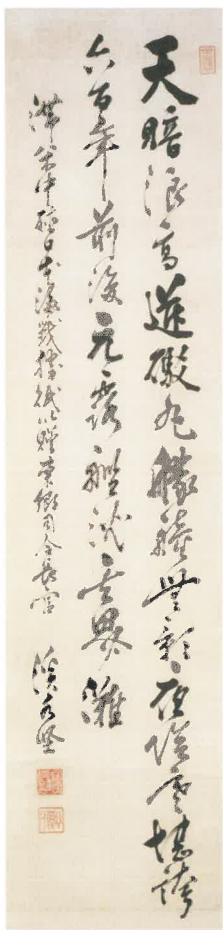
4



3



5



6

1. 菊池寿人あて正岡子規書簡（明治26年）3月13日（個人蔵）
2. 新聞『日本』発行停止通知（個人蔵）
3. 東郷平八郎の双眼鏡（東郷神社所蔵）
4. 児玉源太郎のシルクハット（周南市美術博物館所蔵）
5. 小村寿太郎の名刺（小村記念館所蔵）
6. 金子堅太郎漢詩（記念艦「三笠」所蔵）

挿絵／原画：下高原健二（石川武美記念図書館所蔵）

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス	・JR松山駅から	[所要時間約10分]	市内電車(道後温泉行)——	大街道下車——	徒歩2分
	・道後温泉から	[所要時間約10分]	市内電車(全線)——	大街道下車——	徒歩2分
	・松山空港から	[所要時間約30分]	リムジンバス(道後温泉行)——	一番町下車——	徒歩2分
	・松山観光港から	[所要時間約30分]	リムジンバス(道後温泉行)——	一番町下車——	徒歩2分
	・松山自動車道松山インターから	[所要時間約20分]			

